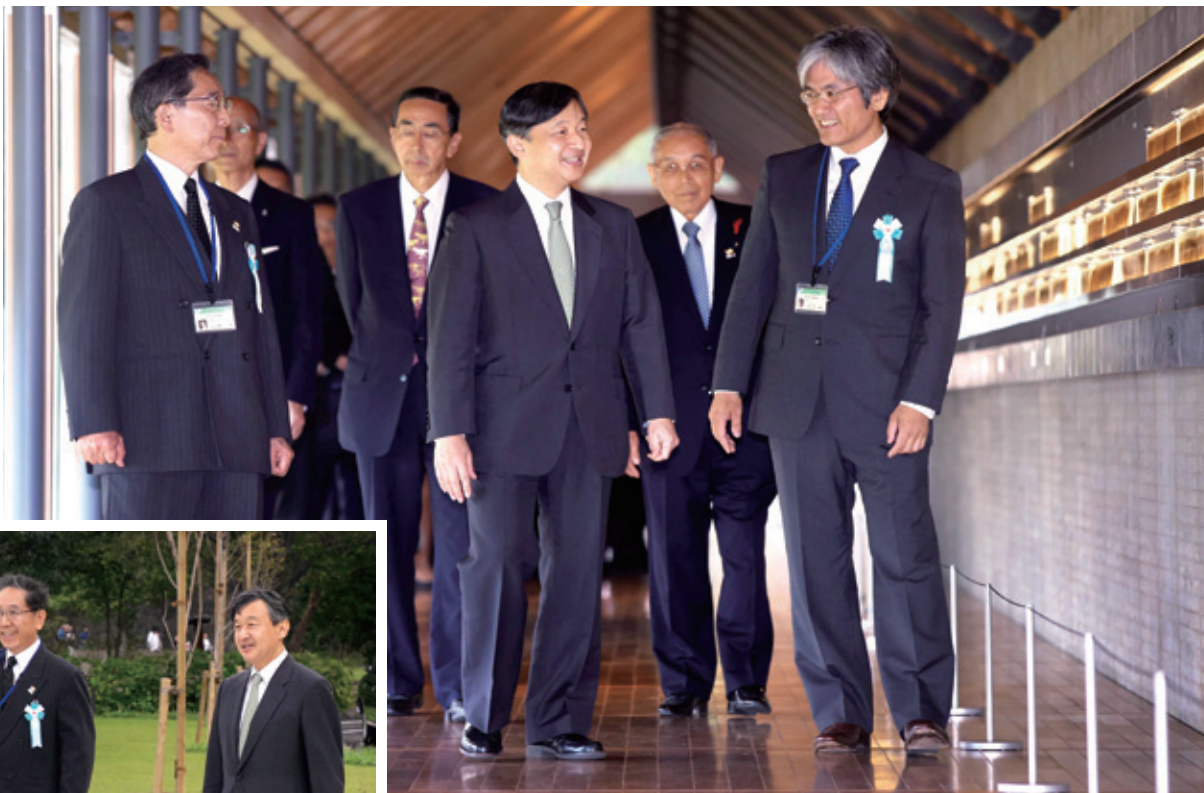


まちの話題

TOPICS



10/14 皇太子さま ご来町



福井しあわせ元気大会(全国障害者スポーツ大会)に来県された皇太子さまは、この日敦賀市でフットベースボールを観戦された後、若狭町(鳥浜)の福井県年縞博物館を訪問され、山根一眞特別館長や中川毅立命館大教授の説明を受けながら7万年分の年縞標本などを視察されました。沿道には多くの町民がお出迎えしました。

10/2 河内川ダム「お絵描き大会」



県が河内で整備を進めている河内川ダムが完成間近となっています。この日、地元建設されるダムに愛着をもってもらおうと熊川小学校全校児童を対象にダムに直接ペンキで絵を描く「お絵描き大会」が実施されました。

それぞれ自分の名前の型紙やもみじの型紙におもしろい色のペンキを塗り記念にしました。

その後、平成28年度より熊川地区地域づくり協議会と協力して育てているもみじの苗木をダム整備に活用してもらおうと贈呈しました。

10/7 熊川いっぶく時代村

毎年恒例になっている「熊川いっぶく時代村」が開催されました。第19回目となる今年は東京の大妻女子大生が熊川宿カクテルを開発して自ら和服でもてなしていました。立命館大サークルによる和太鼓やちんどん屋、人力車、駕籠屋、大道芸など江戸時代にタイムスリップしたような空間が広がりました。例年好評のブリキの金魚レース、ニジマスのつかみ取りなどもあり、終日賑わっていました。



立命館大サークルによる和太鼓



〈撮影：四方由紀子〉



ブリキの金魚レース表彰式

10/15 学校訪問コンサート① 野木小学校・明倫小学校

ソプラノの広瀬奈緒さんと若狭町ふるさと大使でもあるピアノの今川裕代さんによるミニコンサートと合唱の指導が、野木小と明倫小で行われました。合唱指導では高音の発声など教えてもらうなど、プロの演奏を間近に感じられる貴重な体験となりました。来年3月24日には、このお二方によるコンサートがパレア若狭にて行われます。



明倫小での様子

10/25 学校訪問コンサート② 熊川小学校・気山小学校

オーケストラ・アンサンブル金沢の弦楽メンバー4人とメゾ・ソプラノの仲谷響子さんによるミニコンサートが熊川小と気山小で行われました。コンサート後、児童たちは「実際近くで聴くと迫力がありすごかった」と感想を述べていました。

12月2日にはパレア若狭でオーケストラ・アンサンブル金沢の演奏による純名里沙さんのコンサートが開かれます。



気山小での様子

10/19 三方中学校「町づくりプラン」最終発表会

三方中にて総合的な学習時間に昨年10月より1年かけて取り組んできた「町づくりプラン」の最終発表が行われました。3年生全員が9グループに分かれ発表しました。

- ・町の自然を伝えるポストカードの作成
- ・空き家を活用した民泊の提案
- ・今人気のあるSNS(インスタグラムやYouTube)での発信
- ・特産物を活かしたスイーツづくり
- ・縄文・年縞・自然をよりよく知ってもらうため家族が楽しめるツアーの企画
- ・イベントで縄文博物館を知ってもらう「リアル脱出ゲーム」
- ・きららの湯を活用したPR

など、色々な提案がありました。町長などの来賓からは「すぐ出来るものもあるし、大変参考になった」「若い目で見た魅力の再発見が町のPRにつながる」などと感想を述べていました。



10/27 三方五湖レインボーフェス

三方五湖広域観光協議会・(一社) 三方五湖青年会議所・(株)レインボーラインの主催による「三方五湖レインボーフェス」がレインボーライン第1駐車場で行われました。

リニューアルしたレインボーラインの魅力を多くの人に知っていただくとともに、周遊観光を促進しようと今年初めて企画されました。心配していた天候も持ち直し、来場者は、素晴らしい景色とともに、ステージでの演奏や各ブースのグルメなどを楽しんでいました。

また山頂公園では、バラも見ごろを迎え華やかな雰囲気になっていました。

(株)レインボーラインの石田靖彦社長は「地元割引もありますので、是非気軽に町民のみなさんにも来ていただきたい」と語っておられました。



高所作業車による空中体験



おい町太鼓グループ「男爵連」の演奏

10/27 美方高校創立50周年記念事業「タイムカプセル開封式」

創立50周年を迎えた美方高校で、記念事業の一環として「タイムカプセル開封式」が行われました。生徒や教職員、実行委員会役員等関係者約30名によって掘り出されたタイムカプセル。中に封入された、10年前の生徒や教職員の「10年後の自分への手紙」は無事郵送されました。50周年記念式典は来年10月12日に行われます。



10/28 若狭町防災訓練

気山公民館、瓜生小学校において若狭湾北部を震源とする震度6強の地震により家屋倒壊や火災が発生したとの想定で防災訓練が行われました。また両消防組合の秋季訓練も同時開催され火災防ぎょ訓練や救助訓練など多くの住民が見学しました。

両会場では地域づくり協議会の協力のもと住民が搬送訓練や初期消火、煙ハウス体験などを行い、赤十字奉仕団による炊き出しなど本番さながらの訓練が繰り広げられました。
(撮影：四方由紀子)



11/3 ごはん塾

県立三方青年の家の野外炊さん場で、ごはんの美味しさ、食習慣の大切さ等を実感してもらう「ごはん塾」が開催されました。年少から小学校低学年の子どもたちと保護者ら約30名が参加し、まき割りやお米とぎ、釜戸を使ったごはん炊きに挑戦しました。

釜戸でごはんが炊けると、香り豊かなごはんができあがり、子どもたちは歓声をあげていました。また、普段あまり口にしないおこげも食べることができ、子どもたちはおいしい、おいしいと何杯もおかわりしていました。

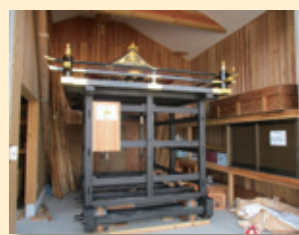


ごはん塾講師の神戸大学名誉教授・保田茂氏は、ごはん食は腸内環境を整え、体調だけでなく心の安定にも重要であるということを、資料を交え保護者らに説明しました。

宝くじの助成金で整備しました

宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの売上金を財源として実施している『コミュニティ助成事業』を活用して、能登野区が山車の修繕と幕の購入をしました。

このように、宝くじの売上金は、公共施設の整備や備品購入などに活用されています。



問い合わせ

総合戦略課

☎0770-45-9112

第12回 wakasa 福祉と文化の祭典

ハート & アート フェスタ

HEART & ART FESTA 2018



第17回ふれ愛交流まつり

正面玄関前で障がいのある方々と地域の小学生が餅まきなどのイベントで交流を深めました。



だれでもライブ

ハート&アートフェスタ2018サポーターによる「支え合い」を一つのテーマにした新企画。子どもからお年寄りまで、そして五湖レンジャーも、誰もが同じようにパレア音楽ホールのステージに登場しました。

ピアニストで特別サポーターの木下翔太さんは「私は今でも本番のステージでは緊張して手が震えますが、演歌を歌った小堀利之さん(北前川)の手も震えていて同じように緊張している人と助け合って一緒に音楽をつくっていると感じました。ちょっとしたことですけど、ハート&アートフェスタのテーマでもある助け合いの社会がこうして築かれていくのではないかと思います。」とコメント。

来場者からは「ステージも会場全体も温かい雰囲気であって良かった。」との多くの声が聞かれました。

さらに充実した共生社会づくりを目指し、「第12回福祉と文化の祭典ハート&アートフェスタ2018」が10月20日(土)・21日(日)にパレア若狭で開催されました。人権意識高揚大会でスタートした2日間の催しからフェスタの様子を紹介します。



人権意識高揚大会

人権メッセージ作品と家庭の日啓発作文の表彰式とその発表が行われました。

熊川小学校5年生の澤田莉生さんは、春の遠足で先生がおばあちゃんに席を譲った行動を見て「先に相手のことを考えるということや、みんなにありがとうと言ってもらえる人になりたい」との思いを発表しました。その後、樹木希林さん主演のハンセン病患者への差別を描いた映画「あん」が上映されました。



赤い羽根共同募金

正面玄関内で赤い羽根共同募金の助成を受けている団体の人たちが募金を呼びかけ、多くの人が快く応じていました。子どもたちには風船がプレゼントされ、笑顔いっぱいのコーナーでした。



きらりアート展

障がい者及び特別に支援を必要とする児童・生徒の公募アート展が9回目を迎え、迫力ある作品に多くの来場者が引き込まれていました。21日にはホワイエにて表彰式が行われました。

第9回伝統文化のつどい

21日パレア音楽ホールにて島根県石見地方が誇る郷土芸能「石見神楽」と400年にわたり城下町郡上八幡で歌い踊り続けられている「郡上おどり」、若狭町内の神事芸能「多由比神社の王の舞」「エッサカエッ」が上演されました。普段なかなか目にすることができない生の舞台上、来場者は感動していました。



「だれでも陶芸体験・遊び」ほか

「だれでも陶芸体験・遊び」では、0歳から大人まで、だれもが土の感触に親しみました。

その他にも「オレンジカフェ〜認知症カフェ〜」や、自分たちで栽培したお米を販売した小学生や活動資金を集めるために参加した団体などが出店のフリーマーケットなど、さまざまな催事があり、会場に集った方々は思い思いの場所・スタイルで互いに交流を深め、楽しみました。

